

第 28 回九州音楽コンクール 管・打楽器部門 審査員プロフィール

管・打楽器部門

清水 万敬

愛媛県生。京都市立芸術大学卒業。ヴュルツブルグ音楽大学大学院修了。マイスターディプロム取得。ホルンを、真下惇至、G. ランゲンシュタイン、Z. ティルシャル、P. ダム、H. バウマン、E. ペンツェル各教授に師事。これまでにホルン奏者として日本フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、教員として第一保育短期大学、福岡第一高等学校、福岡女子短期大学を経て、現在大分県立芸術文化短期大学教授、県立芸術緑丘高等学校非常勤講師、エリザベト音楽大学非常勤講師、平成音楽大学講師。日本ホルン協会理事。吹奏楽においては、第 48 回・49 回・51 回全日本吹奏楽コンクール高等学校の部門出場。これまでに九州交響楽団と鹿児島大学学友会管弦楽団と Mozart: 協奏曲第 4 番、R. Strauss: 協奏曲をそれぞれの楽団と共演。福岡と宝塚にてリサイタルを開催。九州交響楽団、広島交響楽団へのエキストラ、OMURA 室内合奏団メンバー、九州管楽合奏団メンバーとして活動。新日鐵住金大分吹奏楽団トレーナー。吹奏楽コンクール審査、アンサンブルコンテスト審査、合奏指導を各地で行っています。

馬込 勇

国立音楽大学付属高等学校にてファゴットを三田平八郎氏、近藤寿行氏に師事。卒業後、渡欧。日本人初のウィーン・フィル奨学生としてカール・エールベルガー氏に師事。ウィーン国立音楽演劇芸術大学音楽学部管弦打学科を首席卒業（音楽学士）。ムジーク・フェラインザール定期演奏会にてソリスト・デビューし、ウィーン交響楽団他 30 を超える著名オーケストラとファゴット協奏曲を共演する。22 歳でリンツ州立ブルックナー管弦楽団首席奏者に就任し、18 年間努める。1978 年ウィーン・ヴァナス音楽コンクール第 1 位入賞。第 36 回ヴィオッティ国際音楽コンクール特別賞。1981 年オーストリア政府文化大臣奨励賞。1990 年ウィーン・モーツァルト協会賞のほか、1997 年オーストリアより功労勲章・銀を受章。1999 年、池辺晋一郎、外山雄三、西村 朗、吉松 隆の委嘱・作品による楽壇生活 20 周年「馬込勇・ファゴット 4 大協奏曲の夕べ」を東京交響楽団と開催。帰国。2001 年より宮崎県川南町モーツァルト祭音楽監督を務めている。

三村 奈々恵

国立音楽大学打楽器専攻を首席卒業後、渡米。ボストン音楽院にて修士号を取得し、バークリー音楽院で講師を務める。学生時代より、卓越したテクニックと詩情豊かなサウンド

が評価され、史上 3 人目の「アロージ賞」（スイス）を受賞する等、国際コンクールで優勝を重ねる。国際的若手アーティストの登竜門とされる、ニューヨークの「コンサート・アーティスト・ギルド・コンペティション」では、ソロで最高賞を獲得。特にマリンバ・ソロとしては初の受賞者となった。その後、ニューヨークの「カーネギー・ホール」でデビュー・リサイタルが開催され、一躍、世界に名を広めた。

演奏活動は、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、中南米など、世界 22 カ国に及ぶ。マリンバが国家象徴に定められたグアテマラでは、過去 4 回の招聘で国立オーケストラとの共演も果たし、2001 年には「グアテマラ・マリンバ協会」より初の名誉会員（第 1 号）に任命される。また、国内外のコンクールで審査員を務めたり、ウィーン国立音楽大学やアムステルダム音楽院などにゲスト講師として招聘されレッスンやマスタークラスを行うなど、後進の育成にも力を注いでいる。ヤマハアーティスト。昭和音楽大学大学院、同大学、同短期大学部非常勤講師。

* ホームページ等より引用